

備前市施策評価シート

【平成30年度作成】

施策名 (小項目)	ため池・治山対策の推進	コード	作成者	役職	建設課長	
		04-05-18	淵本 安志	電話	64-1830	
					このシート作成に要した時間	3.0 時間

この施策の アピール ポイント	ため池及び治山事業の整備推進を図り、被害の未然防止と地域の安全性を高める。
-----------------------	---------------------------------------

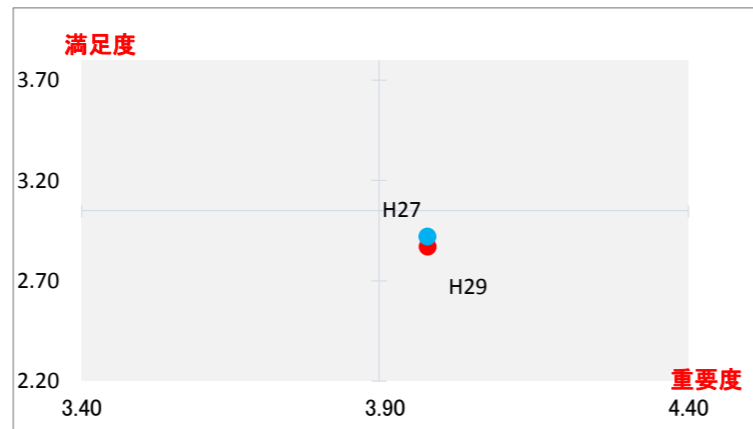
この施策の 平成29年度の 施政方針	ため池については、災害の未然防止を図るため、耐震診断を行い危険ため池の把握に努める。治山対策についても同様に危険箇所を把握し、県などの協力を得ながら対策に努める。
--------------------------	---

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想 (大項目)	土台となる政策「安全・安心」
	基本計画 (中項目)	安全に暮らせるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	地域住民の安全・安心と地元受益者に安定した農業用水の供給を行うため老朽ため池の改修を行い防災機能の強化に努める。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市のため池は、かんがい用として市内各所に345箇所ありますが、耕作農家の減少により耕作農家の経済的負担が増大することから、改修を進めていくことが困難になっています。ため池には豪雨の際、遊水池としての洪水調節機能もあり、防災面からも改修を進めていく必要があります。また、本市の面積の約80%を占めている山林については、山腹崩壊地や荒廃山地が見受けられ、山間溪流でも土砂が堆積する箇所がありますが、近年、県内でも多発するゲリラ豪雨被害の復旧が優先され、県が実施する荒廃林地の復旧や予防治山事業などの整備が進んでいないのが現状です。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 危険ため池の改修 山地危険箇所対策 森林の保全 林道の保全 	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H27	H29
重要度 (%)	3.97	3.97
満足度 (%)	2.92	2.87



《グラフにおける領域の説明》



調査結果に対するコメント、市民の反応等	近年の局地的豪雨に対して、地域の安全・安心を確保するためには、ため池や治山施設の計画的な整備が必要である。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標 (基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H27	H28	H29				
危険ため池改修数	目標 箇所	1.0	3.0	1.0	平成24年度をゼロとして10年後10箇所を目標に改修する。(目標値は累積数)	H32	1	
	実績 箇所	1.0	0.0	0.0		H34	3	
	達成率 %	100.0	0.0	0.0				
	ベンチマーク							
山地危険箇所対策数	目標 箇所	1.0	5.0	1.0	平成24年度をゼロとして10年後10箇所を目標に改修する。(目標値は累積数)	H32	4	
	実績 箇所	1.0	0.0	0.0		H34	6	
	達成率 %	100.0	0.0	0.0				
	ベンチマーク							
参考指標①	目標							
	実績					H32		
	達成率 %					H34		
	ベンチマーク							
参考指標②	目標							
	実績							
	達成率 %							
	ベンチマーク							
参考指標③	目標							
	実績					H32		
	達成率 %					H34		
	ベンチマーク							

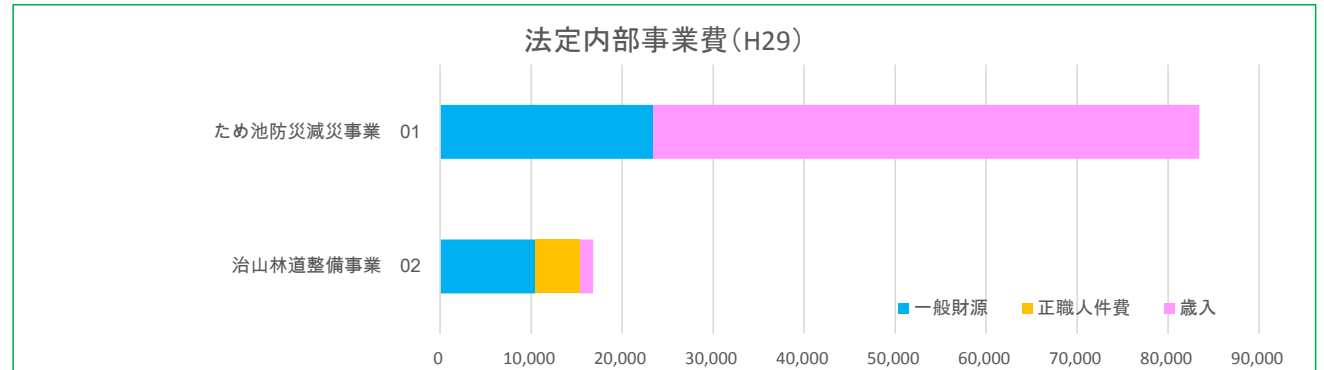
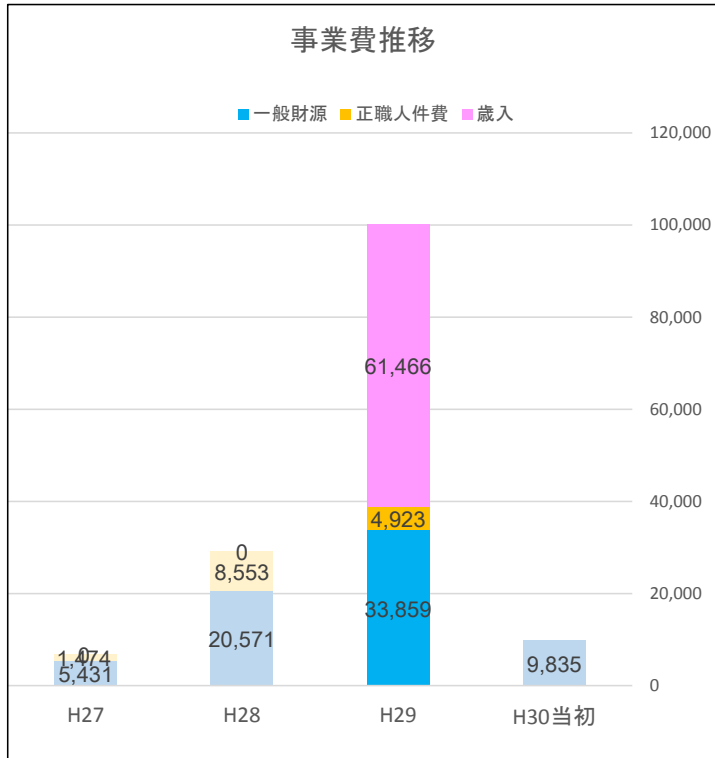
⑦ 目標達成に必要な新規事業 (施策構成事務事業以外の事業) 及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
備前市	小規模ため池補強事業	日本政策金融公庫から融資を受け実施する事業で元利償還に対し岡山県より50%の補助がある。
岡山県	中山間地域総合整備事業	農業生産基盤、農村生活環境基盤を有利な条件で総合的な整備が可能。
岡山県	農村地域防災減災事業	農村地域に対する防災効果を目的に事業が行われ、有利な条件で整備が可能。

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い					
		判断理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)					
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	指標としている改修、対策箇所数は施策の主たる目的である、地域住民の安全安心、農業用水の確保を図る上で妥当である。					
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3	施策の主たる目的である、地域住民の安全安心、農業用水の確保を図る上でため池の改修、山地危険箇所の対策は妥当である。					
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	ため池改修は農業者の経済的負担が有るため調整に時間を要している。又、山地危険箇所対策については、県と協議しながら進めていく必要があるが、中長期目標の達成はできると見込んでいる。					
進行年度 (H30年度) の取組内容 (課題解決状況)	耐震診断により改修の必要性があるため池について、地元関係者と協議を行い、優先順位の高く施工可能なため池から県へ要望していきます。小規模なため池については、管理者への調査をはじめ、農業用水として必要以上貯水しないよう (水位をさげるよう) または、簡易な余水吐切り下げを依頼していきます。						
翌年度 (H31年度) の取組目標	H31年度も引続き、耐震診断やハーザードマップの作成に努めます。耐震診断により改修の必要性があるため池について、地元関係者と協議を行い施工可能なため池から県へ要望していきます。小規模なため池についても引続きため池管理者に安全で適正な管理を協力依頼していきます。						
二次評価者コメント	<table border="1"> <tr> <td>役職</td> <td>建設部長</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td>藤森 亨</td> </tr> </table>		役職	建設部長	氏名	藤森 亨	基本施策への貢献度
役職	建設部長						
氏名	藤森 亨						
			4 やや高い				

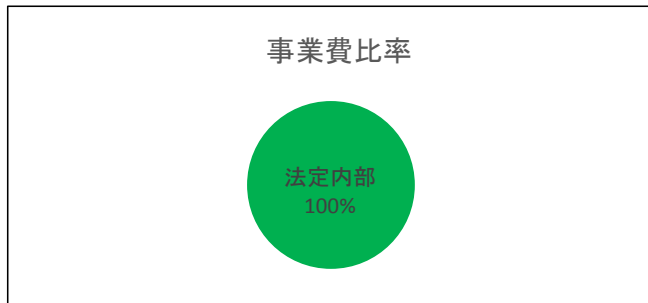
施策評価シート(裏面)



防災重点ため池一覧表 (平成29年4月1日現在)

ため池名	所在地	堤高 [m]	堤長 [m]	貯水量 [千m ³]
五石新池	備前市三石	13	94	177
宿瀬池	備前市閑谷	11	94	168
長谷下池	備前市蕃山	9	113	200
片上大池	備前市東片上	9	203	194
城山池	備前市香登西	16	108	69
大ヶ池	備前市大内	6	220	449
鬼ヶ城上池	備前市伊部	13	99	101
鬼ヶ城下池	備前市伊部	11	160	142
大露口池	備前市佐山	15	121	59
同道池	備前市鶴海	23	136	275
東奥池	備前市日生町寒河	11	133	155
大池	備前市吉永町南方	14	112	198
飼谷池	備前市吉永町高田	13	58	124
城ヶ畑上池	備前市吉永町加賀美	11	63	232
城ヶ畑下池	備前市吉永町加賀美	17	61	385

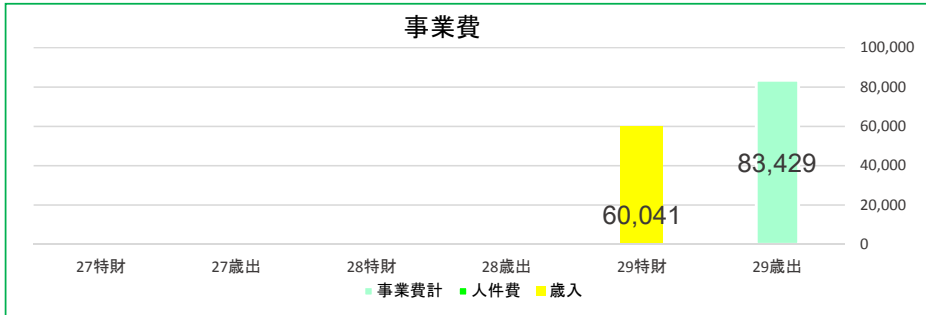
事業費 1.0 億円
 特定財源 0.6 億円



備前市事務事業評価シート【法定事務】【内部事務】

総合計画	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	担当課	建設課
	基本計画	05	安全に暮らせるまち	職・氏名	参事 岸本 豊弘
	施策	18	ため池・治山対策の推進	電話	0869-64-1830
事務事業名	01	ため池防災減災事業	法令名	・備前市分担金徴収条例	

事業の説明	事業概要	・ため池耐震診断調査 ・ため池整備資金借入金元利補給			
	主な事業費	・耐震診断委託料 40,044,240円 ・農業基盤整備資金借入金元利補給金 43,384,540円			
	特定財源	農村地域防災減災事業補助金 33,500,000円 小規模溜池補強事業元利償還助成補助金 26,541,000円			
	処理実績	耐震診断実施件数	H27 2件	H28 0件	H29 2件
	前年度からの変更点・改善点	所管（H29里海・里山課→H30建設課）			

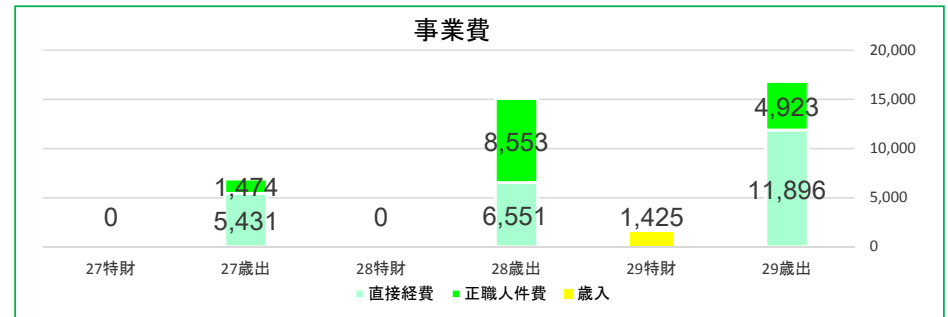


直接経費の分析	増加した理由：施工範囲の増大
人件費の分析	事務改善等による効率化：なし アウトソーシング等による効率化：なし
今年度の改善点	ため池の耐震診断を実施し、ため池の安全を図る
次年度の方角性	引き続き耐震診断を実施し、ため池の安全に努める

備前市事務事業評価シート【法定事務】【内部事務】

総合計画	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	担当課	建設課
	基本計画	05	安全に暮らせるまち	職・氏名	参事 岸本 豊弘
	施策	18	ため池・治山対策の推進	電話	0869-64-1830
事務事業名	01	治山林道整備事業	法令名	森林法	

事業の説明	事業概要	【小規模林道整備事業】岡山県の補助対象条件を満たす改良、舗装等の事業を行う。 【ため池整備事業】岡山県が事業主体の老朽化したため池の改修に対して、事業費の一部負担及び地元調整を行う。 【県営治山事業】台風等の集中豪雨に起因する森林、山地の災害を防止し、また、水源かん養や生活環境の保全を図るため、岡山県が治山事業を実施するにあたり、地元調整を行う。			
	主な事業費	【需用費】（消耗品費、燃料費、修繕料）：3,938,395円（うち日生分238,259円 吉永分777,200円） 【旅費】：6,440円（普通旅費） 【役務費】：24,000円（通信運搬費） 【工事請負費】：4,250,000円（県補助事業） 1,828,240円（単独事業） 【作業員賃金】498,560円（うち日生総合支所分234,560円） 【委託料】：1,188,400円（うち吉永総合支所分842,400円） 【負担金補助及び交付金】：162,000円 【事業費合計】11,896,035円			
	特定財源	県補助金 1,425,000円（事業費の30%程度）			
	処理実績	小規模林道整備事業	H27 1件	H28 1件	H29 1件
	前年度からの変更点・改善点				



直接経費の分析	増加した理由：施工範囲の増大
人件費の分析	事務改善等による効率化：なし アウトソーシング等による効率化：なし
今年度の改善点	地域住民の生活道路として利用されている林道の危険箇所の早期発見に努める
次年度の方角性	治山・林道の危険箇所において、適切な工種を選定し費用対効果が最大となるように努める